

# 簡易小學讀本

木澤成肅編輯  
丹所啓行  
五

館籍世台育教本日大			
三			二
六册	九號	三架	五函

178
2
38

檢定合格本

K120.8
5a
5

木澤成肅  
丹所啓行  
編輯

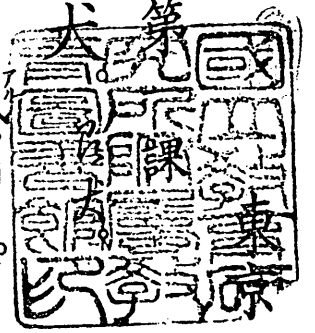
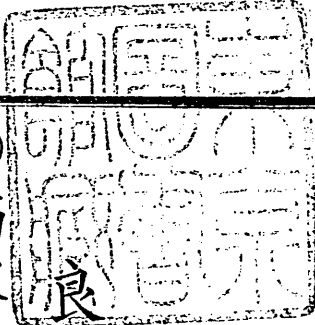
卷五

簡易小學讀本

東京  
二書堂藏梓

№8854

簡易小學讀本卷五



木澤成肅  
丹所啓行

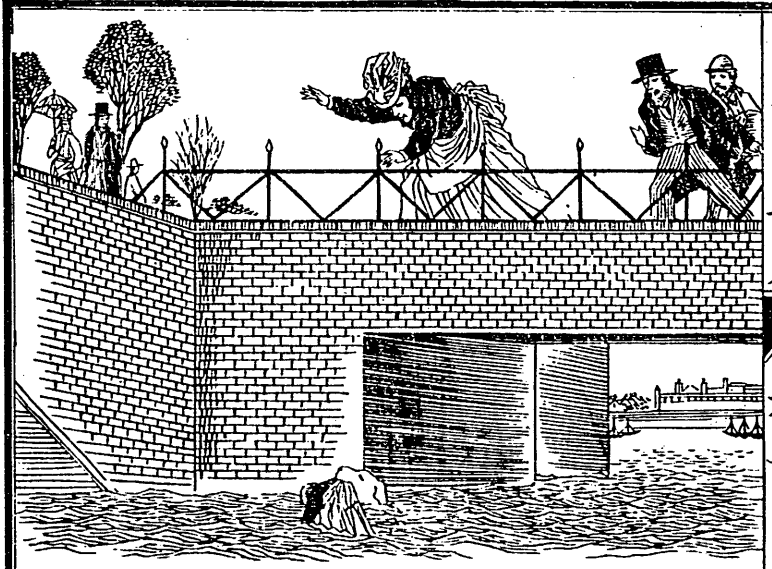


編輯

○西洋ノ或國ニ。多ク大ナル犬ヲ養フ。  
此犬ハ生來善良ニシテ。能ク人ノ用ヲ  
ナスコトアリ。

○或家ノ乳母。一日小兒ヲ抱キ。橋上ニ

簡易小學讀本



立チ臨ミ見シガ。其  
 兒懷ニ在リテ。喜ビ  
 躍リ。乳母過チテ水  
 中ニ落トセリ。驚キ  
 騒ゲトモ。水深クシ  
 テ。入ルコト能ハザ  
 レバ。兒ハ水ニ溺レ  
 ントス。

○時ニ橋ノ傍ニ良犬アリ。跳リテ水中  
 ニ入り。小兒ヲ口ニ啣ヘ來リテ。乳母ニ  
 與ヘタリ。若シ犬ノ救フニ非レバ。小兒  
 ハ死スベキ所ナリシ。

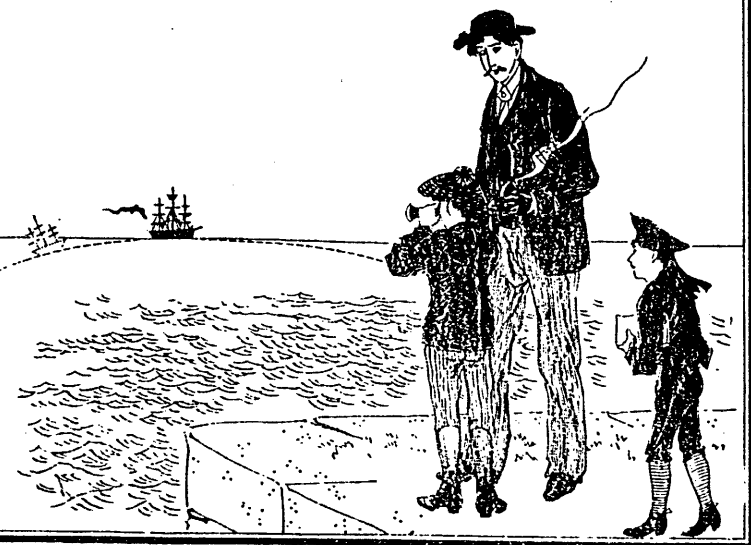
第二課

地球。地球。

○汝等の住居する世界は。其形圓く出  
 て。殆ど橙の如し。其表面は。水と陸とよ

り成り。陸よハ許多の國々あり。  
 ○今世界ハ圓き證據をあげんよ。人海  
 岸に立ち。遙に船の去るを見るよ。最初  
 は船身隠れ。次に帆檣の下邊より次第  
 よ隠るゝを見るべし。  
 ○若し船ハ全體を見る可らざるよ。至  
 り。高邱よ登りて之を見よ。再び此舟  
 を見るを得んし。

○是地球ハ。圓體あ  
 るを爲め。海面も  
 亦圓體を爲し。其高  
 處よ船の隠れて見  
 えずありあるなり。  
 ○又某の港より船  
 を發し。西よ向ひて  
 止まざれば。再び發



せし港に歸るべし。是皆地球に圓ある  
哉知るよ足れり。

第三課

子寶。子寶。

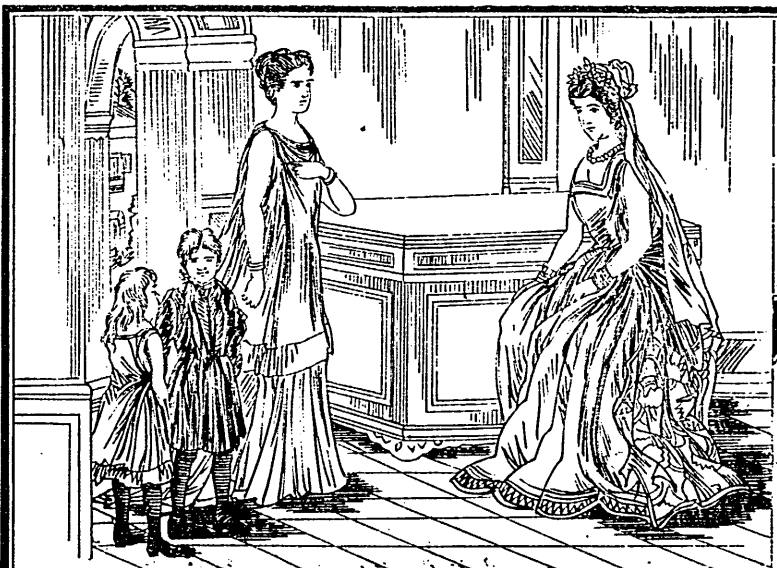
○西洋ニ富豪ノ夫人アリテ。常ニ錦繡  
珠玉ヲ身ニ纏ヒ。衆人ニ賞メラレンコ  
トヲ好メリ。

○或日貴族ノ奥方ヲ尋ネシ時。己ノ裝

ヘル珠玉ヲ自慢ラシク見セ。其價ノ高  
キ事ナドヲ話シ、ニ。奥方ハ別ニ之ヲ  
賞メザリキ。

○夫人ハ奥方ニ向ヒ。貴方<sup>アナタ</sup>ノ寶玉ヲ見  
セラルベシト望ム。奥方承諾シ。暫ク待  
チ給フベシトイヘリ。

○時ニ奥方ノ産ミシ兒二人。學校ヨリ  
歸リ來ル。奥方即チ二兒ヲ。夫人ノ前ニ



出ダシテ曰ク。是コ  
 ソ吾ガ寶玉ニテ候  
 ナリトイヒタリシ。  
 ○人ノ子タル者勉  
 メ學ビ。父母ニ善ク  
 事フル時ハ。父母ヨ  
 リ視テ。寶玉トセラ  
 ルベシ。若シ學業ヲ

怠リ。父母ノ心ニ違フ者ハ。決シテ寶玉  
 トセラレズ。石瓦ニ劣ルモノトイハル  
 ベシ。

第四課

雨。雨。

○雨は素地上の諸水。熱乃爲め蒸と  
 れ。水蒸氣とありて。空中に騰り。再び冷  
 して降り來るもれあり。

○春降る雨を春雨  
といふ。草木之が爲  
めよ養われ。芽を出  
だし。花枝開く。夏は  
夕立として。急よ降り  
来て。又急に止む由  
少多し。

夕立の歌  
夕立の歌  
の歌。



植付し田畠乃稲も志得れり。

早よりなやまや人々能。

あらぬよ汗の流るまが。

小川乃水の如き川と。

稲枝をよんでだきあ。

時よ空をよ一変遠山の。

峯よ立ちしる雲は色。

見る海よ空のきとを。



光るいさけまなるるみ乃。

聲のい地上城裏あり。

車乃軸をを流まぶさ。

雨も降り来て夏の日也。

暑さ城洗布夕立り。

なやむ人とも笑あつり。

卧しは稲も起き直り。

今年もこの里よりらんと。

よ話おぢ氏の住む里は。

夕立雨ぞ神はぬまを乃。

第五課

梟ト鳩ノ話。梟と鳩の話。

○梟アリ其巢ヲ去リ。他處ニ徙ラントシテ出デ行ケリ。偶々途中ニテ鳩ニ逢フ。鳩ノ曰ク。汝何レニ行カントス。梟曰ク。我が郷人大ニ我が鳴ク聲ヲ惡ム。故



ニ他處ニ徒ラント  
スルナリ。

○鳩曰ク。汝人ニ惡  
マル、コトヲ厭ハ  
ズ。何ゾ鳴クコトヲ  
止メザル。汝若シ鳴  
クヲ止メザレバ。何  
レノ郷ニ行クトモ。

誰カ厭ハザル者アランヤト。誠メケレ  
バ。梟ハ漸ク去ルヲ止マリ。鳩ノ言ニ服  
セリ。況<sup>マ</sup>テ人ハ言語ヲ慎ムベキナリ。

第六課

尺度の用。尺度の用。

○母上よ此帯は何尺ありや。

○娘よ其帯の寸尺ハ。人よ問をばして  
知るべき具あり。汝自ら計りて見よ。其

具は尺度モノサシやいふを  
有あり。

○尺度の目は先づ  
一寸釐を一分といひ  
十分釐一寸やいひ  
十寸を一尺といふ。  
十尺を一丈といふ。  
其帶の寸尺も此具



にて計らば知るを得べし。

○尺度よ二種あり。織物等を計るよ呉  
服尺燧用ひ器物を計るよハ。曲尺を用  
ふ。

○木綿は凡そ二丈六尺を一反とし。絹  
も凡そ二丈八尺を一反とし。二反ゆか  
裁つるよの燧一匹といふ。此一匹を裁  
ちて製すれば。通常の衣服二つやある

なり。

第七課

地理。地理。

○今汝等ハ何處ニ立テルヤ。學校ノ遊歩場ナルベシ。其遊歩場一立チ居テ見ル所ハ何物ゾ。

○近キニハ。學校アリ。村アリ。林アリ。遠キニハ山アリ。川アリ。海アリ。是皆地上



ニアルモノ、目ニ見ユルモノナリ。

○凡、地上ニアルモノニ自然ニ出來タルモノト。又人ノ作リタルモノトアリ。其名各異ナリテ。自然ニ出來タルモノ

ハ。山川海等ナリ。人ノ作りタルモノハ。町村國等ナリ。

○商家ノ集リタル所ヲ町ト云ヒ。農家ノ多キ所ヲ村ト云ヒ。町村等ヲ合セタルヲ郡ト云ヒ。郡ヲ合セタルヲ國ト云フ。國中ノ最モ繁華ナル地ヲ都會ト云ヒ。政府ノアル地ヲ首府ト云フ。我が國ニテハ東京ヲ首府トナス。

### 第八課

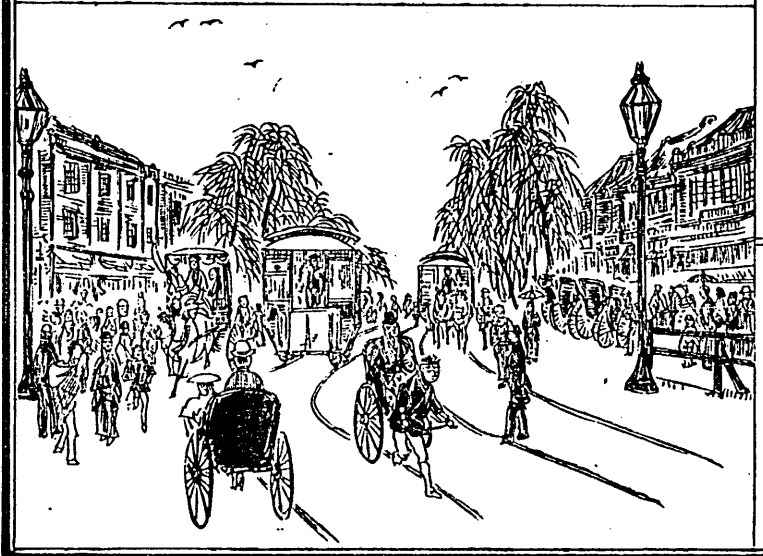
東京。トウキョウ。

○東京ハ其廣々凡々東西三里。南北四里。よして中央に皇城あり。城外よハ大小此市街櫛比し。人口凡々九十餘萬ありて。商工の業甚々盛なり。

○此府北東よ川あり。上流を隅田川といふ。下流を大川と稱す。六大橋を架せ

此川ハ東京灣よ  
通ぶる城以多。大に  
運漕の便をなす。隅  
田川の東岸よも。許  
多の櫻樹を植ゑる  
り。

○皇城の東北よ方  
ありて。上野公園あり。



園中櫻樹多く。花時も都人群遊す。園内  
に博物館ありて。古今の物品を陳列す。  
又動物園ありて。珍禽奇獸を畜ひ。皆人  
をして之を縦覽せしむ。

○東京より發する。鐵道に停車場ハ東  
よ在るは上野。東南よ在るハ新橋なり。

第九課

三韓征伐。三韓征伐。



○神功皇后ト稱ス  
 ルハ。仲哀帝ノ皇后  
 ニシテ。應神帝ノ御  
 母ナリ。躬ヲ舟師ヲ  
 率斗テ。三韓ヲ討チ。  
 遂ニ之ヲ服セシメ  
 タリ。

○三韓ハ。我が國ニ

服從セシ以來。色々ノ物品ヲ貢シ來ル。

其二

仲哀帝乃御時了。

熊襲といふる賊阿里て。

叛者一故了仲哀ハ。

沸師起一討ち給布。

其功も立多由申。

崩一給魚ば皇后ハ。

大臣武内中議と決し。

男子乃宮子装心宮。

熊襲乃根據也頼之は。

荒海隔川三韓了。

舟師と率為攻め入りし。

新羅の王は皇后の

威風也恐生従ひ事。

金銀彩帛八十艘。

年々貢之事を極免。

高麗も百濟を帰服して。

舟師也回す筑紫濱。

致回て布里よて應神坂。

産之宮皇子よ立て給也。

政事を攝事聽許給也。

是我神功皇后乃。

三韓討ちて阿ら海に去り。

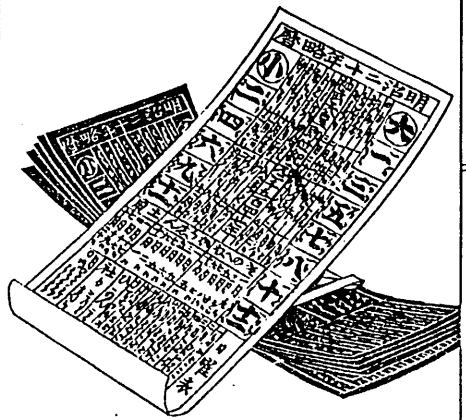


第十課

年月。年月。

○三百六十五日ヲ  
一年トイフ。月ニハ  
三十一日。三十日。又  
二十八日ニテ。一ト月トイフモアリ。

○一月。三月。五月。七月。八月。十月。十二月  
ハ。三十一日ニシテ。四月。六月。九月。十一



月ハ。三十日ナリ。又二月ハ二十八日ニ  
シテ。四年目ニ一度ヅ。二十九日トナ  
ルコトアリ。コレヲ閏年トイフ。

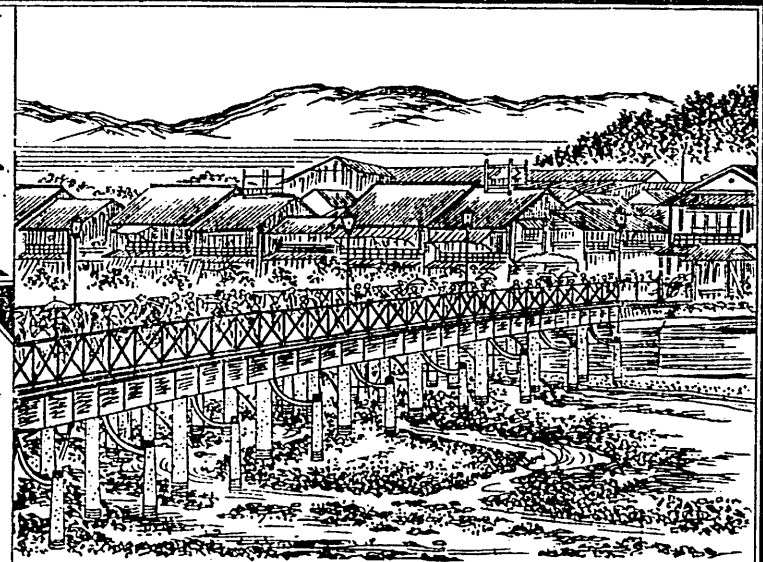
○此年月ノ過ギ去ルハ。甚速カニシテ。  
幼年ノモノハ。忽チ少年トナリ。少年ノ  
モノハ。壯年トナリ。壯年ノモノハ。老年  
トナル。故ニ年少キ時ニ。學業ヲ爲サバ  
レバ。老イテ悔ユルトモ。及ブコトナシ。

第十一課

京都系都

○京都ハ山城の國ニ在リテ。桓武天皇  
 以來明治元年に至るまぎ。凡ク千餘年間  
 此帝都トリシ。今は舊都ト云りたまご  
 も。猶ほ京都ト稱す。東京城距ること百  
 三十一里あり。

○京都の市街ハ南北ニ稍長ク。道路端



正ヨシテ。四方に達  
 せ。其中ニ神社佛閣  
 名所古蹟多シ。此都  
 乃北隅ニ方リ。御苑  
 と稱する公園あり。  
 舊禁苑の在リし所  
 なり。又其西ニ二條  
 城あり。市街の東を

總べり東山と稱し。華頂山。祇園。清水等  
此名所あり。又西北より。北野天満宮。金  
閣寺等の名跡あり。就中嵐山の櫻。高尾  
山の紅葉ハ。景色最も佳あるが故也。春  
秋よりは。文人墨客多く遊觀す。

○又市中より一帯は川あり。加茂川やい  
ふ。夏時納涼の客群集す。

○此地に在る鐵道ハ。東大津より發し。

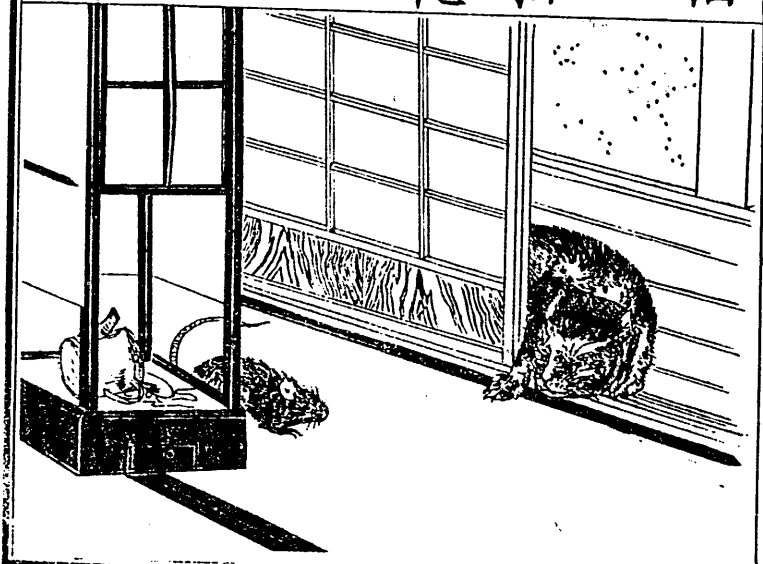
此都伐過ぎ。大阪より神戸に達す。運輸  
甚ど便あり。

第十二課

老猫ノ思慮。 老猫の思慮。

○寶曆ノ比。中京某ノ方ニ。夜々燈火ノ  
滅ユル事アリ。某ハ不審ニ思ヒ。一夜之  
ヲ試ムルニ。夜更ケテ。大ナル鼠出テ。燈  
火ノ油ヲ舐ルアルナリ。

○依リテ隣家ノ猫  
 ヲ借リテ之ヲ捕ヘ  
 サセントセシガ。猫  
 其鼠ヲ見テ。忽チ怒  
 リ。直ニ飛ビカヽリ  
 ケルヲ。鼠飛ビチガ  
 ヘテ。猫ノ喉ニ嚙ミ  
 ツキ。猫ハ反リテ鼠



ニ殺サレタリ。

○家人大ニ驚キテ。又老猫ノ最モ強キ  
 ヲ搜シ來リ。彼鼠ニ向ハセタリシニ。猫  
 ハ鼠ノ逃ゲ路ニ到リ。少時白眼合ヒ居  
 タルニ。鼠怒リテ嚙ミツカントセシヲ。  
 猫ハ落ツキ居テ。苦モナク。其鼠ヲ嚙ミ  
 殺シケルトナン。

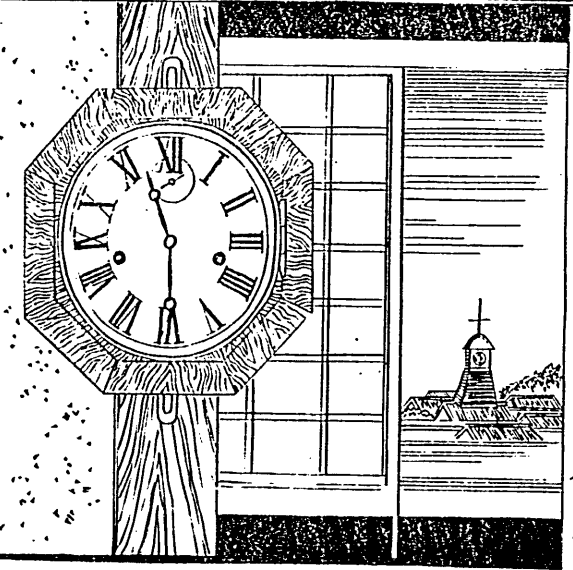
○人モ沈着セザレバ。終ニ大事ヲ誤ル

コトアルベシ。

第十三課

時計。時計。

○大陽中天よ在り。今も何時ありや。十  
二時なり。今時計も十二鳴りあり。  
○時計ハ。十二時を初免とし。一時二時  
少回り行き多。再び十二時の所よ至る。  
夜半此十二時なり。正午十二時迄也。午



前何時といふ。正午十二時なり。夜半十  
二時までを。午後何時といふ。午前午後

を以て記せり。  
I 一  
II 二  
III 三  
IV 四  
V 五  
VI 六  
VII 七  
VIII 八  
IX 九  
X 十  
XI 十一  
XII 十二

第十四課

伯父。伯母。叔父。叔母。伯父。伯母。叔父。叔母。

○吾ガ父母ノ兄ヲ伯父トイヒ。姊ヲ伯母トイフ。吾ガ父母ノ弟ヲ叔父トイヒ。妹ヲ叔母トイフ。

○吾ガ兄。弟。姊。妹ハ。伯父。伯母。叔父。叔母ノ姪ニシテ。吾ガ父母ト。伯父。叔父。伯母。叔母トハ。兄。弟。姊。妹ナリ。

第十五課

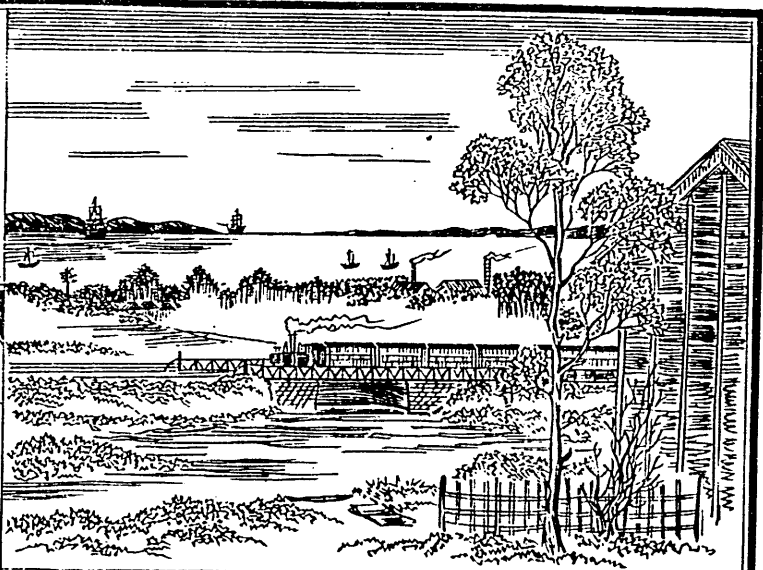
水火。水。火。

○水ハ世界ノ最も用多きものなり。先づ我々此今日生活して。世を渡るの状を見よ。飲食成せざれば。餓え死するに至るべし。衣服を着ざれば。寒暑を凌ぐこと能はざるべし。

○又住居せざれば。雨露を避くること

能はばるる。此等の用よ充つる。穀物野菜肉類。絹木綿木材等ハ。皆水よ依り。其成長を助けざるはなし。

○又水ハ。大よ工業を助くるものよて。彼乃水車を見ら。水の力よて。大なる車輪を回らし。機關を用ひ。米麥を舂き。小麥粉を挽き。又ハ篩ふ等たり。諸種の業を助くるを能あり。



○水よ火を添ふれば。蒸氣を生じて。又大なる力を有するものあり。汽車ハ。此力よ依りて。數多れ車室よ。數百乃人を乗せ。速よ走るあり。迅速な汽車も。一時

間凡廿十里六町餘を走るやい多。

○汽船も蒸氣の機關を設き。走らむる此船なり。此船ハ。風の順逆も拘らば。走る故。豫め日限を定めて。海上を旅行を法を得る。汽船ハ。一時間。凡そ七里十二町餘越るといふ。

○船や車の外にも。蒸氣機關にて。種々此業を助くるを得べし。此蒸氣機關と

い多ハ。釜の内よ。水焔入ま。火よて。之を沸る。其蒸氣の力焔用ふる。仕掛を以ふなり。

第十六課

贈答。贈答。

○太郎ノ庭ニ。柿ノ實ヨク熟シタレバ。太郎ノ母ハ。コレヲ





取リテ。太郎ニ與ヘタリ。

○熟シタル柿ノ實ハ。其味ノ甘キモノ  
ナレバ。吾ハ之ヲ朋輩ノ二郎ニ分チ與  
ヘントシテ。左ノ文ヲ作りテ贈リタリ。

手紙と云て、一上を陳も私方柿柿樹  
熟しそを實少くあうら進上致し候也

月日

柿本太郎

栗原二郎

○二郎ハ。朋輩ノ深切ナルヲ喜ビテ。早  
速左ノ返書ヲ認め。答禮トシテ。栗ノ實  
ヲ其使ニ渡セリ。

手紙の如く見陳を柿柿山は進み下  
さるまゝより難くなきを、おほ礼の布をよ  
栗少くも上を如

月日

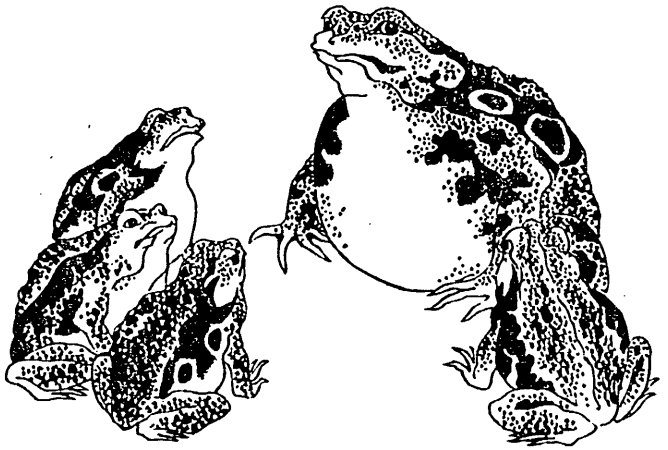
栗原二郎

柿本太郎

第十七課

牛をまねる蟻。 牛をまねる蟻。

○一匹の蟻あり。牛の身體乃。いやふとくたくまーげなる。我羨み。忽ち僭稱乃心を起し。己の身體の小きき。我忘き。世中より。尤も大いなる獸と呼むる。牛乃身體よ似きんもの。頻りに身體を膨脹して曰ふやう。請ふ我が朋友よ。



汝等傍よありて。能く我の身體を見つめ。吾が體の全く牛の如くある。我待ち多。其時我よ告ぐられよや。

○蟻大いよ氣張りと。腸をふくらせ。之

簡易小學讀本 卷五

にても未ど及をぬやと問へば。猶ほ及  
 を治と答へるまば。ますく我慢し。是よ  
 ても及をぬや。是よてもるといひつゝ。  
 終よ己れ乃肚腹を張り裂きこりどろ。  
 最と憐まむべきも能よ大哉。  
 ○人をも身分よ過ぎたる事成おせば。こ  
 能墓よ齊し。我も乃哉か。

簡易小學讀本卷五終

簡易小學讀本五

明治二十年七月十六日版權免許  
 同二十一年二月十八日印刷  
 同二十一年二月十八日訂正再版出版  
 定價金銭五厘

編輯者

木澤成肅

東京府士族

編輯者

丹所啓行

東京府平民

阪上半七

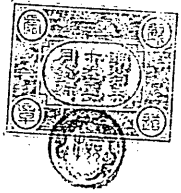
東京府平民

發行兼  
印刷人

石塚徳次郎

東京府平民

日本橋區本石町十軒店六番地  
 麹町區麹町三丁目十九番地



# 簡易小學讀本

木澤成肅編輯  
丹所啓行  
六

館語設會育教本日大			
三			二
六册	九號	三架	五函

178  
2  
38

檢定合格本

K120.8  
5a  
b